

流域管理小委員会の審議状況 について

これまでの流域管理小委員会での検討の経緯

第1回流域管理小委員会 (H15.12.17)

< 議 題 >

- ・過去の報告の反映状況
- ・流域管理のアプローチを実施するための論点

第2回流域管理小委員会 (H16. 2.24)

< 議 題 >

- ・流域と下水道の関わり
- ・下水道による汚濁負荷の効率的削減の骨子(試案)

< 話題提供 >

- ・虫明委員長 水マネジメントにおける施策/連携・総合化について
- ・三本木委員 都市における水循環環境の整備に関する新制度

第3回流域管理小委員会 (H16. 4.12)

< 議 題 >

- ・流総計画に関する制度改革案
- ・都市における水のネットワークづくりのための制度案

< 話題提供 >

- ・岸委員 鶴見川流域ネットワークの取組みについて
- ・松井委員 わが国の水行政機構改革について

第4回流域管理小委員会 (H16. 5.27)

< 議 題 >

- ・中間報告(案) について

< 話題提供 >

- ・前田委員代理の伊東氏 多摩川の水利用と下水道について
- ・澤井委員 琵琶湖の水質について

第5回流域管理小委員会(H16.6.21予定)

・中間報告をとりまとめ予定

・只友委員、古米委員、眞柄委員より話題提供の予定

下水道政策研究委員会流域管理小委員会委員名簿

(5 0 音順・敬称略)

委員長	虫明 功臣	福島大学教授
委員	石川 忠男	日本下水道事業団理事
	岸 由二	鶴見川流域ネットワーク代表，慶應義塾大学教授
	澤井 源市	滋賀県琵琶湖環境部技監
	三本木健治	明海大学教授
	只友 景士	滋賀大学助教授
	端 憲二	(独) 農業工学研究所水工部長
	古米 弘明	東京大学大学院教授
	前田 正博	東京都下水道局流域下水道本部長
	眞柄 泰基	北海道大学特任教授
	松井 三郎	京都大学大学院教授
	松田 芳夫	(財) リバーフロント整備センター理事長

国土交通省環境行動計画(案)

国土交通省では、発足後4年目であり、政府の地球温暖化対策推進大綱の見直しの年でもある本年、統合のメリットを生かしつつ、その環境政策を総点検し、「国土交通省環境行動計画」を策定することとし、検討を行ってきました。この度「行動計画(案)」をとりまとめ6月14日まで意見募集を行い、今後6月中を目処に策定の予定です。

国土交通省環境行動計画(案) (抄)

第一章 国土交通省環境行動計画策定に際しての基本的な考え方と主な取組 国土交通行政のグリーン化を進めるための6つの改革

(4) 持続可能な国土の形成

全国海の再生プロジェクト(仮称)の推進

また、この一環として、下水道の高度処理を進めるため、経済的インセンティブの付与を介し、経済合理性に沿った「**排出負荷量の調整配分を行う計画制度**」の法制化を措置します。

水と緑のネットワーク化計画(仮称)の推進

特に、水のネットワークについては、都市内河川・水路の水質、水量や水辺環境に関する問題に対応するため、**水源や水路の保全・再生など、水のネットワーク再生を効果的に進めるための制度化を行います。**なお、これらの施策を効果的に進めるため、水と緑のネットワークの形成に意欲のある地域の先進的な取組を支援する、地域提案型のモデル事業を、公募により実施します。

第二章 新たな施策展開

健全な自然環境の確保・水循環系の構築

2. 水と緑のネットワーク

都市域を中心とする河川流域における水のネットワーク再生

【**都市域を中心とする河川流域における水のネットワーク再生のため、法制度を含む計画・事業制度についての検討を踏まえ、その実現に向けての制度構築を平成17年度に措置**】

3. 健全な水環境・水循環系の構築

下水道における健全な水環境・水循環系の構築に向けた経済的手法の導入

【**下水道において経済的インセンティブの付与を介し、経済合理性に沿った排出負荷量の調整配分を行う計画制度の法制化を平成17年度に措置**】